

### 第 33 回日本学生オリエンテーリング連盟総会議事録

日本学生オリエンテーリング連盟広報部

日時:2001 年 3 月 12 日(月)

場所:旅館鈴岡コンベンションホール

加盟校:44 校中 28 校の参加により総会が成立

1. 議長選出

立候補松井貴史(静岡大 2)

承認(拍手?)静岡大学は以下の議題の議決権を失う。以下より有効票数 27。

2. 役員自己紹介

略

3. 2001(平成 13)年度日本学連幹事選挙

立会人:山川

幹事長立候補者なし

副幹事長武村讓(北海道大 3)

25 / 27 で承認

会計金田岳志(東京工業大 3)

27 / 27 で承認

4. 2001(平成 13)年度日本学連地区代表幹事

選挙立会人:山川

北東学連米本路憲(東北大 2)

25 / 27 で承認

北信越学連田中猛史(信州大 2)

27 / 27 で承認

関東学連宇田川雅令(東京大 2)

27 / 27 で承認

東海学連長谷川靖(静岡 2)

27 / 27 で承認

関西学連岸本誠之(大阪大 2)

25 / 27 で承認

中九四学連山本輝明(広島大 2)

27 / 27 で承認

5. 2001(平成 13)年度技術委員会委員長の選出

信任投票大西淳一(96 年東京大学卒)

27 / 27 で承認

6. 2001(平成 13)年度インカレ開催の決議(土方)

● (配布試料)学生 OL 界の現状

加盟員数やインカレ参加者数減少による収入減少

現在の規模と質の維持困難。

● インカレの主催者

インカレは学生(日本学連)が主催する大会である。

以上の2点を理解した上で、学生の意見を聞く。

<意見>

- ・ 参加費を値上げしても、地図の質は下げないでほしい。
- ・ 参加費を上げると参加者が減ってしまう。
- ・ 宿泊費は抑えられないのか。
- ・ 新勧活動を積極的に。各大学間で新勧活動についての意見交換を行ってみては。

以上の打開策4案について賛成するものに挙手

対象総会の場にいる学生加盟員全員

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| ・参加費を値上げする賛成            | 17 |
| ・地図(調査)の質を落とす賛成         | 6  |
| ・地図をクラシックとリレー同マップにする)賛成 | 14 |
| ・運営規模の縮小(イベント、人員削減)賛成   | 28 |

新幹事長の立候補者が決まり次第臨時総会を開催し、新幹事長の承認と合わせて、インカレ開催の決議を行う。

7. インカレ、インカレショート規約改正(吉村技術委員)

配布資料に現規則と改正案を掲載

26/27で承認。2001年4月1日から施行

8. 幹事会活動報告(井下田)

- \* 賛助会員登録のフォーマット変更。
- \* 高校生OL界への援助として学連の地図とCCを無償提供。
- \* 学校代表者のMLの運用を来年度から始める(公式な連絡手段としては用いない)。

9. 各部局活動報告

1) 事業部

インカレガイド作製、販売した。開会式、後夜祭無事終了した。

2) 広報部

2月17日いぶきNo.5発行した。3月下旬にNo.6発行予定。内容はインカレ特集。

3) 事務局学連

名簿を作成、発送した。

10. 地区学連活動報告

11. 技術委員会報告(吉村)

2000年度活動報告と2001年度活動計画、予算案は配布資料参照。

2000年度会計報告は作成中。

EMIT講習会を3月17日に関西で開催予定。

12. 理事会報告(土方)

\* テレインコントロールワーキンググループからのおしらせ

今回のインカレのテレインはクラシック、リレー共にクローズ。今後のインカレの開催ビジョンと

WOC2005 に向けてのトレインコントロールについては総会資料参照。

\* 理事の改選

新年度(2001 年度)理事会の日本学連副会長として山川克則氏、参与として佐藤信彦氏を推薦。また新理事として大滝民己氏を幹事会で任命。

27 / 27 で承認

13. 今年度会計報告(会計二俣)

このままでは学連会計の予備費に余裕がなくなるので、額の大きいユニバー予算(100 万)を再考してはどうか。

14. 99 年度会計報告(99 年度会計横室)

一部の部局等からの会計報告がなされていないため、決算報告は次回総会にて行う。

15. 来年度の定例総会の日程

11 月 23 日(金・祝インカレショート 2001 の前日)に決定

以上